



奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞



奈良県のフジバカマが絶滅

弓場 厚次

萩の花 尾花 葛花 撫子花 女郎花 また 藤袴 朝顔の花 山上憶良

「秋の七草」の源流は万葉集に詠まれたこの歌と言われ、奈良時代から1300年の時を経て、この春、残念ながら七草のひとつ、フジバカマが奈良県のRDB（レッドデータブック）に絶滅種として掲載されました。今回は野生植物34種が県内では既に絶滅したと判断され、特にフジバカマの絶滅は近畿では初めてとの事で、お隣の京都府のRDBでは絶滅寸前種に指定されております。なお自生地が国の天然記念物のオオヤマレンゲやカザグルマが絶滅寸前種に分類されました。

同じ野の露にやつるる藤袴 あはれはかけよ かごとばかりも 紫式部

また今年は紫式部の書いた「源氏物語」が読まれてから1000年。「源氏物語」三十帖「藤袴」で、光源氏の長男・夕霧が恋する玉鬘にフジバカマをそっと差し入れた話の様に、当時の京の都では貴族がフジバカマの葉を陰干ししたものを香草として、特に女性達は匂い袋に詰めたものを十二単の懷に忍ばせておりました。

洵りせし人の形見か藤袴 忘れ難き香に匂ひつつ 紀貫之

紀貫之の言う「忘れ難き香」とはフジバカマの香りで芳香成分はクマリン。桜餅の香と同じもので植物体内ではクマリン酸の配糖体で香りは無く、乾燥したり咬むと加水分解しクマリンが生成して芳香を放ちます。フジバカマは古くは「蘭草」と呼ばれ浴湯料として入浴や洗髪に、また藤色の花の咲く莖葉を利尿剤として「むくみ」を取るのに使われておりました。

万葉集に歌われ日本各地の河原で見られた「秋の七草」のひとつ、フジバカマも河川の改修等で減少し、環境省では絶滅危惧種に指定しています。現在 確認されているのは本州から九州の22都道府県で約6000個体だそうで、山上憶良が「朝顔の花」と詠んだキキョウも絶滅危惧種に指定されており、何れは「秋の五草」になる日が来るかも知れません。

平城山で昨年の春からスタートした「ならやま里山林プロジェクト」の地の一角に、メンバーの一人が垂種のフジバカマを移植され、昨秋は見事に成長した株の枯葉で、「忘れ難き香」を楽しませていただきました。

なお、平成15年の夏に大峰・和佐又山の研修会で観察したフジバカマの仲間、ヨツバヒヨドリの花に乱舞していた「渡りをする蝶」・アサギマダラが平城山で沢山観れるかもしれません。

このアサギマダラは夏場を過ぎると、渡りの為に比良山系等から紀伊半島をサシバと同じ様なルートで南下します。今秋、アサギマダラが「ならやま里山林」のフジバカマを見つけて、オスの蝶が性フェロモンの材料にPA（ピロリディンアルカロイド）を子孫繁栄のために吸蜜に来てくれる事を、今から楽しみにしております。

季節感 と 日本語 Ⅱ

川井 秀夫

春休み。わが家にも5年生の孫がやって来ました。

爺「勉強やってるかい。好きなものは何」孫「算数だヨ」「偉いんだなァー。嫌いなのは」
「国語と社会だヨ」「何でかな」「漢字がむづかしいんだヨ」・・・。

メディアが伝える国語力の低下、日本語の軽さが問われる風潮に、成る程、内の孫も平均的小学生かと頷いたものでした。

今回は前々号でお約束した【風】の季節感に蘊蓄を傾けて見ました。風を表す言葉は読みを含め、全国で2000語あると言われます。その、極く一部を取り上げました。

俳句は韻文の世界と言われ、日常語でない読み、述語を使う事が多くあります。
北風（キタ）東風（コチ）西風（ニシ）南風（ハエ）と言った具合です。俳句は短詩型で、省けば省くほど世界が広くなり、説明すれば説明するほど狭くなると言われる所以です。
四季に分けてどんな【風】があるか紹介して見ました。

『春』 貝寄風（カイヨセ）法会の筒花は難波の浜の貝で作る。貝を浜に吹き寄せる意。

涅槃西風（ネハンニシ）釈迦入滅（陰暦2月15日）の頃に吹く西風。彼岸西風とも。

桜まじ「まじ」は真風。南風のこと。「まじ」は「ませ」とも言って夏の季語。

初 風 四季共通。季節の始めに吹く風だが、特に春の表現。

他に、春疾風（ハルハヤテ）軟風、風光る、比良八荒、油風 等々。

『夏』 あいの風 日本海沿岸で吹く、北・北東風を言う。あゆの風とも。

いなさ 台風がもたらす南東の風、雨の前兆を指す。

青 風 青葉を揺らす、南寄りのやや強い風。麦嵐とも。

他に、「筍流し」「おぼせ」「黒南風」「白南風」「おくれまじ」等 方言色の強いものがある。

『秋』 金 風 中国の五行説で金に配されることから。

色なき風 これも中国では、秋は白、夏は朱、春は青、冬は玄と「史記」の記述から。

雁渡し 雁が渡る頃に吹く北風。これが吹くと海も空も青み、秋が到来する。

初 風 立秋後、初めて強く吹く風。

他に、「爽籟」「野分け」「黍嵐」等 多くある。

『冬』 風 花 何処からともなく風に運ばれて来る雪を表現。

時 雨 局地的な通り雨。村時雨、片時雨、小夜時雨の様な使い方も。

落虎笛（モガリブエ）強風が笛のような、虎の咆哮に譬えて言う。

朔 風 北西の季節風。

あなじ 北西から吹く悪風。「アナジの八日吹き」漁に害が生じる。

他に「凧」「空っ風」「隙間風」「たま風」「べっとう」「北おろし」等多い。

四季を通じ、野外活動で風を感じたら、自己流の造語を作ってみては如何でしょうか。
次の機会には【雨】を考えて見ます。

4月例会 「大仏鉄道と鹿背山城址を再び訪れて」

担当：川井秀夫機関長、大石門三機関助手

日時：4月5日（土）時間：10：10～15：00 天候：快晴 18度

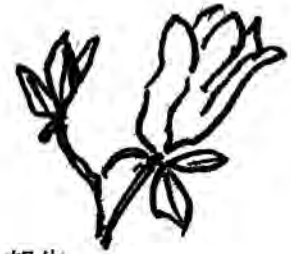
行程：JR加茂～観音寺郷～大仏鉄道遺構～鹿背山不動～鹿背山郷～西念寺～鹿背山城址～峠郷～JR木津 凡そ11km 約5時間

参加者：勝田均夫妻、古川澄、清水章子、林令子、山田洋子夫妻、守口京子、柳原斎二 古川祐司、福谷峯子、森英雄、平塚等、小森清道、豊島すみ子、横井由美子、宮澤喜代子、伊藤純子、林田孝子、田伏博子、野田陽子、柳田弥知子、西谷範子、阿部和生、弓場厚治、松浦孝子、竹本雅昭夫妻、牧野賀子、川井秀夫、大石門三、ビジター（松本悦子、逢坂雅子） 合計33名

天空清く晴れ渡り、正に清明の候、絶好のお花見日より、山や野の芽吹きは未だ、でも田んぼのレンゲや畦道のヒメオドリコソウ、里の桜も満開で迎えてくれた。一昨年は木津からのコースであったが今回は逆を歩いた。現在の大和路線加茂から木津に平行に走った大仏鉄道は、今から110年も昔わずか10年間であったが黒い煙を吐きながら、奈良まで多くの観光客に夢と希望を載せて走り抜いた。赤レンガの隧道遺構に昔のロマンの思いに馳せた。廃止の理由は三重県の加太越えと並んで最大の難所である黒髪山越えを抱える路線、何と最大勾配は1/40で当時の蒸気機関車の性能では四苦八苦、機関手は最大の注意を払ってやっとの思いでホームに停車させてそうです。ちなみに当時の時刻表では、名古屋8：00に出て奈良大仏駅は13：53の到着でした。スローライフ、さぞ駅弁も美味しかった事か。遺構を外れ、たおやかな里路や柿畑を進むと古刹の西念寺で待望のお昼ご飯にありつけた。住職さんのご好意によりお茶の接待を受け、童心に還り小学唱歌などを声高に歌い、後期高齢者予備軍も確実に10歳は若返ったか。春の芽吹きの前、絨毯の落ち葉を踏みしめて登る事10分、鹿背山城址からとうとうと流れる木津川や春霞の奈良盆地を眺め、峠郷の里の見事な桜を愛でながら、最終のJR木津に無事到着し、3組のご夫妻やビジターなど33名は、本日の観察の復習としてクイズで締めた。（大石門三 記）



JR 加茂駅前にて



4月オプション企画 『ヘグリの里の桃源郷を訪ねて』の報告

幹事 小嶺、勝田

4月3日晴れ、午前10時近鉄平群駅前に集合。今回花が一番盛りの時期を考慮した為、予告無し、会報が届いて2-3日の余裕しか無く、幹事としましては心苦しい点もありました。多くの方は桃源郷の言葉の魅力にひかれて、最優先して参加又、例会に初参加、御夫妻で、友達を連れて等々、総勢17名で出発。

途中、レンギョ、オウバイ、ウンナンオウバイ、アオモジ、モモ、スモモの花等を観察しながら緩い坂道を3kmほど登り、谷間に入る。

そこには、昔、花木の出荷の為に枝を切り、いじめていたが人手が無く放置した為、自然に帰り、伸び伸びと枝をのびしたコブシ、ハクモクレン、トウモクレン、シモクレン、ケイオウサクラ、トサミズキ、ヒュウガミズキ、サンシュユ、アオモジ、種々のツバキ等まさに百花繚乱の趣であった。昼食はこの谷を眺めながらの頂上の平群里山クラブのベースキャンプで小鳥の鳴き声を聞きつつ、くつろいだ。

西谷さん持参のツクシの珍味も美味しかった。里山クラブのメンバーは焼き餅と熱いコーヒーで歓迎して頂いた。午後は桃源郷の集落を堪能し2時半過ぎに元山上口駅で解散した。(小嶺 記)

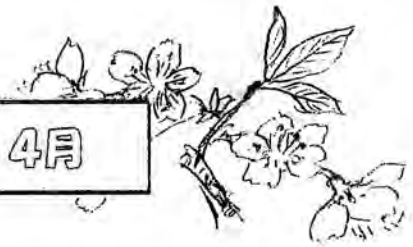
社会貢献事業報告 「アースデー2008 in なら」 <4/20>

報告 小嶺

当会の参加も恒例になっているが、本年は、ならコープからの助成を受けている25の団体が青空のもとブースを開き主催者発表で780名の参加があった。10時-11時は参加者が近くの大和川のクリーン作戦で河川清掃を実施後、各ブースで環境問題の説明や買い物、種々の物作り等で楽しんでいた。今年から本会場で各会代表の活動報告があり、当会からは川井会長が報告した。我がブースの出展は鶯笛、青タケ切り体験、タケカップ、タケ輪さし制作等を提供し、好評であった。

ボランティア参加の皆様ご苦労様でした。

参加者 川井、樋口、古川、阿部、本郷、守口、明石、小嶺



3月22日（土）晴 10時集合 参加者20名

新規の入会希望者8名の参加があり、各自の自己紹介とならやまプロジェクトの概要を説明して活動開始。

湿田の笹藪跡地の整備

3月17日に自転車専用道路沿いの畑跡地を県の手で耕起していただいたが、畑跡地（約3アール）はヒマワリなどの景観植物の植え付けを検討中。また、隣接する笹藪跡地は駐車スペースとするため、ゴミやビン、缶などの異物を除去した。

C地区竹藪整備が完成

C地区の竹藪整備は、本日を持って予定通り完了した。本日の参加者全員で達成の喜びを分かち合う。枯木を除去した後の空間地には栗の木を植樹する予定。

畑作業

土壌改良のためのコンポスト材料として、剪定枝チップ（運賃以外は無償）を導入した。

今後、刈草、枯葉、米糠などと混ぜて発酵させ、有機肥料として活用する計画。

タマネギの除草、エンドウの支柱補強を行い、サラダ菜、分葱の一部を収穫した。

春夏の野菜は収穫のタイミングが難しい。時間が許せば、活動日以外でも草引きかたがた来て頂いて、旬の野菜をお持ち帰りください。

15時解散

3月31日（月）曇り 10時集合 参加者20名

新規の入会希望者1名の参加があり、新人は計21名となった。

里山整備

今期最後の山整備日。主としてD、E地区の里山林観察路の整備をおこなう。

取りあえず、最低限の観察ルートが開通する。今後、里山観察や調査を進めながら、倒木、古木の除去、下草の刈払い等の整備を継続的に進めていく。

畑作業

a 地区の畑跡地にサトイモ植付の準備をする。湿地を掘り起こすのは中々の仕事だが、何とか3本の畝が仕上がり、種芋の植え付けを待つ。

分葱、サラダ菜の収穫。

16時解散

4月1日（火） 晴

急な申込があつて、あやめ池のボランティアグループ「えんがわ文庫」（代表・小島道子さん）の児童（幼児を含む）保護者計17人が来訪。春の野草の観察、里山歩き、竹コップ作り、野外料理を楽しんだ。小学校低学年の児童が、里山の観察路を歩きながら、生き活きはしゃいでいたのが印象的だった。（窓口責任者：阿部さん、小嶺、守口、古川が対応）

【追記】

①4月10日の新入会員歓迎会は、雨天のため5月8日（木）に延期された。

②栗苗木の植樹とサトイモの植付は、タイミングの関係もあり、4月14日に有志5人で実行した。悪しからずご諒承下さい。

（ 古川祐司 記 ）

囀り・謳う

小田 久美子

バード・ウィークの5/11(日)には平城旧跡でも9時から公開探鳥会が催されます。目に青葉の季節になり、夏鳥たちもやって来て謳い始めました。是非お出かけ下さい。

どんな小鳥でも謳う能力は先天的に持っていて、言語に必要な声を出す能力と文法を習う能力は先天的に持っています。幼鳥を防音室の中で隔離して育てると多くが異常なうたを謳うようになるそうです。狼に育てられた子が人間の言葉を話せなかったようにこの点は人間の言語

にも似ていて、良いうたを謳うためには良い師匠が必要、単語、発音の法則、文法などは後天的に学習されなければならないようです。では、自種と他種のうたを人為的に聞かせた場合はどうなるのでしょうか・・・結果は・・・自種のうたを優先して覚えるようです。カッコウの子が育ての親の鳴き声を真似ず、ちゃんと親と同じうたをうたうようになるのもこの原理からでしょうか???。違法なのですが今でもメジロの競技会があって、良い歌い手は先生としても高値で取引されているようです。



自然俳句欄

幻の鉄路跡ふみさくら風 秀夫

明治の頃、木津から奈良まで十年間走った大仏鉄道跡。
遺構を見て、桜花爛漫 春の好日を楽しむ。

* 特報 *

前号の奈良検定合格者、下記の方が欠落しておりました。

2級合格 境 寛さん 弓場 京子さん



★4/5(土) 垂仁陵、ヨシガモ オシドリが数羽ずつ

4/15(火) 畝傍山、コマドリ(囀り)シロハラもまだいて冬と夏の交差点 (小田)

★ 3/6 2年ぶりに庭にシロハラが来た。アオジも毎日チツ チツと鳴いている。隣家のアンテナには初お目見えのカワラヒワが止まり・・・なんかうれしい春でした。それとビーン ビーンとおおきな声で鳴く鳥がいてなんという鳥かと調べたらカワラヒワのオスのさえずりでした。初めて聞きました(4/2)。榎原 (齋藤)

★【斑鳩より】4/2 ニューナイスズメが桜の花を大量に落としていた。4/13 30羽位いた。

4/24 コムクドリ? 葉っぱの陰で見つけた。渡りの途中なのか。 (勝田)



原則 前日の午後7時前のNHK天気予報で降水確率(午前)60%以上の場合は中止

『ならやま里山林プロジェクト5月の予定』

場所 奈良市奈良坂町・佐紀町の県有林(JR 平城山駅下車徒歩10分)

—「ならやま会館」前の道路(ならやま大通り)の南側に広がる林地—

日時 5月8日(木)・・・新人歓迎会(新人10時集合、会員9時集合)

バス乗り場または JR 平城山駅で会員が案内します。歓迎会では、アルコールが出ますので、マイカーは自粛願います。(詳細は4月会報ご参照下さい)

5月24日(土)・・・一般活動日 9時集合

5月30日(金)・・・雨天予備日

いずれも 終了予定3時

集合 現地ベースキャンプ地

交通

5月8日(木) 新入会員の方

①近鉄奈良駅 バス13乗場9:36発 高の原行

②近鉄高の原駅 バス1番乗場9:38発 JR 奈良行

①②とも佐保台西口、または平城大橋下車 徒歩約7分

③JR 平城山駅 9:35着 徒歩約7分

会員の方

①近鉄奈良駅 バス13乗場8:23発 高の原行

②近鉄高の原駅 バス1番乗場8:30発 JR 奈良行

携行品 弁当、飲み物、軍手 (作業用具は現地に用意しています)

活動内容

里山林整備、環境整備・植生調査、放置田跡の笹刈、畑手入れ、花植栽景観形成

景観クリエーター募集

里山にふさわしい景観を作りたいと思っています。花、樹木の植栽に関心のあるボランティアを募集します。また、山野草類の育成についてアイデアや苗をご提供下さい。また果樹の苗などもいただければ幸いです。

(問合せ先 古川

小嶺

新入会員歓迎会

日程：5月8日（木）

集合時間：会員9時・新入会員10時

場所：ならやま里山林 ベースキャンプ

問い合わせ：古川・小嶺



【奈良忍辱山森林整備作業】

（場 所） 奈良市忍辱町 国有林 東海自然歩道沿いの二次林です。

（忍辱山円成寺駐車場）より徒歩10分

（集合場所） 国道369号線 忍辱山円成寺駐車場

（奈良交通バス停 忍辱山円成寺下車少し戻る）

（日 時） 5月19日（月）【集合時間9:10より、終了予定Pm3:00ころ】

（交 通） 奈良交通バス 近鉄奈良駅前バス乗り場④番 8:18 柳生・月ヶ瀬温泉行き
9:40のバスご乗車の方は、直接現地へお願いします。

（持ち物） 作業のできる服装、昼食、飲み物、手袋、
ヘルメット、のこぎり、防護メガネなどの用具は、準備していますが、
お手持ちのものあれば持参ください。ご参加お待ちしております!!

（連絡先）弓場厚次

明石嘉一郎

阿部和生

作業報告…4月16日（水）、参加者—弓場厚次、中畑 進、明石嘉一郎、小森清道、板橋宏昌、竹本雅昭、森 英雄、鈴木正好、阿部和生、9名。今回も新しく鈴木様ご参加されました。奈良県の活動同意書が、3月末に出され「奈良森林管理事務所」より連絡がありました。20年度はスムーズな、出発です。新年度でもあり全員で活動区域を一周しました。ヤマツツジがそちこちに美しく咲き乱れ、花期を過ぎたショウジョウバカマを見つけたりと、手入れの成果を確認することができました。第三期の活動域も、残すところ2割程度、9月をめどに完了報告を出せるのでは…と感じました。

長年集合地としてきました「円城寺さん」の駐車場も、ご参加の方が増えるに従い、別途確保する必要が出てきました。「奈良森林管理事務所」大谷調整官とも連絡を取り、その近辺での駐車場を見つけたいと思います。

作業中に、小鳥の巣が見つかり、そっと 離れたものです。昼食時耳を澄ますとよく小鳥の声が聞こえます。山の手入れによる成果の一つとしてツツジが咲き小鳥も増えてきたのかな?というように考えています。 （阿部記）

5月例会 新緑の明神平 「台高山脈の隠れた名峰」

台高山脈の北部、国見山の南に広がる明神平に新緑を堪能しませんか。ちょっと足場の不便なところですが、今回は貸し切りバスを用意しますので、この機会にぜひ参加しませんか。明神谷のヒメシャラの花には少し時期が早いかもしれませんが、雑木で最も美しいといわれる、光沢のある赤褐色の幹肌を楽しむことができます。下山後は、やはり温泉で、ほっこり・ゆったり温泉を楽しんで帰ります。

4月20日現在スタッフを入れて15名です。貸し切り中型バスですので、まだ6～7名余裕があります。至急申し込みください。先着順です。

皆様の多数の参加をお待ちしています。

日 時 5月15日(木) 小雨決行

集合場所 近鉄八木駅 南口

集合時間 午前8時30分 (山行ですので、少し早いですがよろしくお願いします)

予約申し込み 20名先着順 事前に境までFAXまたはTELにて申し込みください。

貸し切りバスで座っていきます。 費用3500円

担 当 境 寛 高橋 弘志

持ち物 ハイキング用品、弁当など

コース

近鉄「八木」 ↔ (バス) ↔ 大又 ↔ 七滝八壺 ↔ 明神滝 ↔ 明神平 ↔ 穂高明神

歩行距離・時間 片道8km 往路 3時間30分 復路 2時間10分

(貸し切りバスですので、奈良交通バス停「大又」の先の林道をバスが入ればコースを若干短縮できます。)

第7回 通常総会のご案内

日 時：平成20年5月25日(日) 午前10時集合

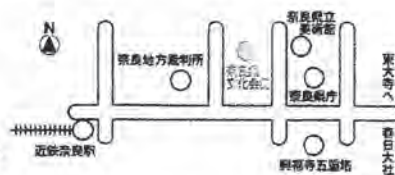
会 場：奈良県文化会館 第3会議室

奈良市登大路町6-2 TEL：0742 (23) 8921

会次第：① 第7回 通常総会 10:00am～

② 般若寺から奈良豆比古神社を訪ねる 1:00Pm～

※ 委任状をご提出された方でも自然観察会にはご自由にご参加ください。
会員皆様のご参加をお待ち致しております。



〈6月の予定〉

6月例会「飛鳥」

日程：6月14日(土)

担当：阿部

・川井

*詳細は会報第77号(6月号)でお知らせします。

協力活動 「いこま棚田クラブ」の活動日 ご案内

活動日…5月4日(日)、12日(月)、18日(日)、26日(月)

5月は田植えの季節、5月10日(土)生駒山スカイウォーク、

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

AM9時 現地までタクシー他 分乗で移動、弁当、飲み物持参ください。

Homepage・<http://www.k2.dion.ne.jp/~ikoma/>

平成20年4月度幹事会議事録

日時：平成20年4月8日(火) 18:00～21:00

場所：中部公民館 出席者13名 司会 弓場 記録 勝田

[会長報告]三井物産財団の助成金が認められた。

[報告事項]

- (1) 会員動向・会計報告：会員数104名 残額329,602円*チェンソーは保険の対象外
- (2) 3月度例会「早春の山辺の道」(3/15) 会報第75号に掲載
- (3) 4月度例会「大仏鉄道」(4/5)：33名参加。快晴で桜も満開。新会員会員外の参加
- (4) ならやま里山林プロジェクト：3/22 20名、3/31で年度行事は予定通り終了。物置、駐車場も完成。今後水田跡にサトイモ、ヒマワリ等を植える。
- (5) 奈良・忍辱山森林整備事業：3/13 10名参加。年度予定を終了した。
- (6) 「いこま棚田クラブ」：地元の方も積極的で、順調に進んでいる。
- (7) 4/10予定の「新入会員歓迎会」は大雨予報のため、5/8(木)に延期を決定。
- (8) オプション「平群桃源郷」(4/3)：17名参加。平群里山クラブの協力も得られた。

[確認事項]

- (1) 5～7月スケジュールの確認

総会：5/25(日)

例会：5/15(木)「新緑の明神平」境・高橋。6/14(土)「飛鳥」阿部・川井。7/18(金)「八ツ房スギと青蓮寺」弓場・小田。

ならやま：「5月」8(木)・24(土)・30(予備日)。「6月」5(木)・21(土)・30(予備日)。

「7月」4(金)・19(土)・31(予備日)。

忍辱山：5/19(月)。6、7月は未定。

幹事会：5/13(火)・6/3(火)・7/8(火)

- (2) アースディー活動準備状況：4/20(日)奈良コープ主催。竹切り体験・カップ等

[討議事項]

- (1) 総会関係：役員及び役員増員に関わる会則改定について討議した。

編集担当：勝田 均

TEL&FA

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫